

一般会計予算決算常任委員会記録

令和5年5月24日

【開催日】 令和5年5月24日（水）

【開催場所】 議場

【開会・散会時間】 午前10時～午前10時30分

【出席委員】

委員長	中村博行	副委員長	笹木慶之
委員	伊場勇	委員	大井淳一朗
委員	岡山明	委員	奥良秀
委員	白井健一郎	委員	恒松恵子
委員	中岡英二	委員	中島好人
委員	福田勝政	委員	藤岡修美
委員	古豊和恵	委員	前田浩司
委員	松尾数則	委員	宮本政志
委員	森山喜久	委員	矢田松夫
委員	山田伸幸	委員	吉永美子

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

議長	高松秀樹		
----	------	--	--

【執行部出席者】

副市長	古川博三	総務部長	辻村征宏
企画部長	和西禎行	協創部長	篠原正裕
市民部長	岩佐清彦	福祉部長	吉岡忠司
経済部長	桶谷一博	建設部長兼大学推進室長	大谷剛士
山陽総合事務所長	川崎信宏	教育部長	藤山雅之
財政課長	山本玄	財政課主幹	別府隆行
財政課財政係長	江本洋治	財政課調整係長	原川寛子

【事務局出席者】

局長	河口修司	局次長	中村潤之介
議事係長	山田寿実子	議事係主任	岡田靖仁

【付議事項】

- 1 議案第32号 令和5年度一般会計補正予算（第3回）について
- 2 承認第1号 令和5年度一般会計補正予算（第2回）に関する専決処分について

午前10時 開会

中村博行委員長 ただいまから、一般会計予算決算常任委員会を開会します。

本日の審査日程はお手元に配付してありますとおりですので、これに従って進めてまいります。それでは、議案第32号令和5年度山陽小野田市一般会計補正予算（第3回）についてを議題とします。各分科会での審査が終了しましたので、分科会長の報告を求めます。最初に総務文教分科会長の報告を求めます。

（笹木慶之分科会長登壇）

笹木慶之分科会長 それでは、議案第32号令和5年度山陽小野田市一般会計補正予算（第3回）について、総務文教常任委員会が所管する部分について報告させていただきます。概要ですが、今回の補正は、歳入では繰入金の増額、歳出では物価高騰等に直面する学校給食食材の物価高騰相当額について増額を行うものです。論点または審査によって明らかになった事項について申し上げます。まず、歳入についてですが、19款繰入金、財政調整基金繰入金、1億4,413万6,000円の増額です。この補正により、令和5年度末の予算上の財政調整基金残高は、30億5,606万3,000円となります。続いて、歳出です。10款教育費、4項1目幼稚園費8万5,000円の増額、6項2目給食費2,539万5,000円の増額です。歳入では繰入金の増額、歳出では給食費の物価上昇分を臨時的に公費で負担することによって、保護者の負担増を抑え、これまでどおりの栄養バランスや質を保った給食が提供できるように支援するものです。財源は新型コロナウイルス感染症対

応地方創生交付金を活用するということであります。次に、主な質疑について申し上げます。「算定根拠について、小中学校は、主食、副食、牛乳とそれぞれ分けて比較されていて、埴生幼稚園は大枠比較されているが、その根拠は」との質問に、「幼稚園では、牛乳の提供が毎日ではないので、副食と一緒に試算した。また、幼稚園は、食数が少ないことなどから、主食と副食を分けて試算すると消費者物価指数の上昇率と実態がそぐわなくなるため、1食当たりの単価に物価上昇率を乗じて算出した」との答弁でした。次に、「主食のご飯とパンでは、どちらが物価上昇率が高いか」との質問に、「パンは14.6%増で、ご飯は4.5%増であり、パンのほうが物価上昇率が高い」との答弁でした。以上が、総務文教常任委員会が所管する部分の内容です。よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

(笹木慶之分科会長降壇)

中村博行委員長 総務文教分科会長の報告が終わりましたので、これより質疑を行います。質疑はありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）

山田伸幸委員 それでは会長にお尋ねします。先ほどの説明の中で、給食費の物価上昇分を臨時的に公費で負担することにより、保護者の負担増を抑えると説明されましたが、この予算投入によって、保護者の負担はどの程度になるのですか。

笹木慶之分科会長 保護者の負担はありません。

中村博行委員長 ありませんということです。ほかに質疑はありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）質疑なしと認めます。次に、民生福祉分科会長の報告を求めます。

(松尾数則分科会長登壇)

松尾数則分科会長 それでは、民生福祉常任委員会から、議案第32号令和5年度山陽小野田市一般会計補正予算（第3回）について、民生福祉常任委員会が所管する部分について、報告を申し上げます。まず、概要として、今回の補正は、物価高騰等の影響を受ける者に対して必要な支援を行うための事業など速やかに措置すべき案件について補正するものです。論点または審査によって明らかになった事項としまして、まず、歳出ですが、3款民生費、1項10目物価高騰対策住民税非課税世帯支援給付金給付事業2億8,262万5,000円の増額は、エネルギー、食料品価格等の物価高騰による負担増を踏まえて、住民税非課税世帯に対して1世帯当たり3万円を目安に支援をする方針が閣議決定されたことを受けて、住民税非課税世帯に対して、1世帯当たり3万円の給付金を支給するものです。主な質疑として、「前回までの給付事業において、対象者のうち、実際に給付金を受け取られた方は何割ぐらいなのか」との質問に、「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金は、約9割の方に給付し、電力ガス食料品等価格高騰緊急支援給付金は9割弱の方に給付した」との答弁がありました。「1世帯当たりの給付額を引き下げて、対象世帯の幅を広げるというような対応は検討しなかったのか」との質問に、「住民税均等割のみを課税している世帯等まで幅を広げることも検討したが、本事業と同時に商品券発行事業を行うことを考慮し、本事業の対象者は住民税非課税世帯のみとした」との答弁。「入院等により受付期間内に申請できない対象者への対応は考えているのか」との質問に、「前回までの給付金のときよりも、受付期間を長くしている。また、期間内に必要書類等、期間内に書類等を提出いただけるようにアプローチしたい」との答弁がありました。2項2目児童措置費631万8,000円の増額につきましては、山口県保育所副食費等物価高騰対策支援事業の一環として、物価高騰下にあっても、私立認可保育所において、これまでどおりの栄養バランスや量を保った食事が提供できるよう、食料材料費支出に係る増加相当額に対する支援を行い、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るものです。主な質疑としまして、「補助金は

渡し切りなのか。支出した後に何か確認するのか」との質問に、「実績報告を出してもらうが、それによって返還を求めることはない」との答弁でした。以上をもちまして、民生福祉常任委員会からの報告を終わります。皆様の御審議をよろしくお願いします。

(松尾数則分科会長降壇)

中村博行委員長 民生福祉分科会長の報告が終わりましたので、これより質疑を行います。質疑はありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）質疑なしと認めます。最後に、産業建設分科会長の報告を求めます。

(藤岡修美分科会長登壇)

藤岡修美分科会長 議案第32号令和5年度山陽小野田市一般会計補正予算（第3回）について、産業建設常任委員会が所管する部分を5月18日に委員全員出席の下、審査しましたので報告します。概要です。今回の補正は、物価高騰等に直面する市民生活を支援し、地域における消費を喚起するため、商品券発行事業を実施するものです。論点または審査によって明らかになった事項などは、歳出で、7款商工費、1項2目商工振興費2億9,535万9,000円の増額です。これは、物価高騰等の影響に鑑み、市民生活を支援するとともに、地域における消費を喚起するため、市民や山口東京理科大生に商品券を配布するものです。主な質疑として、「コールセンターの設置期間はどれくらいを予定しているか」との質問に、「盆休みまでには配布したいため、8月1日から9月15日までの1か月半と考えている」との答弁がありました。「商品券が5,000円から4,000円に減った理由は」との質問に、「昨年度までは、事業費のほとんどに補助金を充てていたが、今回は補助金が昨年の半分ぐらいになっており、一般会計から事業費を出す必要があるため」との答弁がありました。以上で、報告を終わります。委員各位の慎重審査をよろしくお願いします。

(藤岡修美分科会長降壇)

中村博行委員長 産業建設分科会長の報告が終わりましたので、これより質疑を行います。質疑はありませんか。

山田伸幸委員 今回のこの商品券について、配布方法はどのようにされるのか。それと、以前は……

中村博行委員長 委員会ですので、一問一答でお願いします。

藤岡修美分科会長 配布方法につきましては、ゆうパックで行うとの答弁がありました。

山田伸幸委員 以前の配布では、同じ家であっても別々に配達されることがあったんですが、そういったことに対する防止策はなされているんでしょうか。

藤岡修美分科会長 そういった質問も出ましたけれども、ゆうパックにおける配布方法で、今回はそんなに苦情がなかったということで、前回同様の配布を行うとの説明はありました。

中村博行委員長 ほかに質疑はありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）以上で質疑を終わります。それでは、討論に入る前に、執行部の出席を求めるため、若干の休憩を挟み、10時25分から再開しますので、定刻までに御参集をお願いします。それでは、休憩します。

午前10時14分 休憩

中村博行委員長 休憩前に引き続きまして、委員会を再開します。それでは、議案第 32 号令和 5 年度山陽小野田市一般会計補正予算（第 3 回）について、討論を行います。討論はありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）討論なしと認めます。これより、議案第 32 号について、採決します。本件に賛成の委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

中村博行委員長 全員賛成です。したがって、本件は可決すべきものと決しました。続きまして、承認第 1 号令和 5 年度山陽小野田市一般会計補正予算（第 2 回）に関する専決処分についてを議題とします。分科会での審査が終了しましたので、民生福祉分科会長の報告を求めます。

（松尾数則分科会長登壇）

松尾数則分科会長 それでは、民生福祉分科会から御報告を申し上げます。承認第 1 号令和 5 年度山陽小野田市一般会計補正予算（第 2 回）に関する専決処分について、民生福祉常任委員会が所管する部分について報告を申し上げます。概要としまして、今回の補正は、国において、食費等の物価高騰による負担増を踏まえて、低所得の子育て世帯に対して給付金を支給する方針が示されたため、支給に向けた体制を早急に整えるための予算措置として、令和 5 年 4 月 20 日に専決処分を行ったものです。論点または審査によって明らかになった事項としまして、まず、歳出について、3 款民生費、2 項 12 目子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費 7,799 万 7,000 円の増額は、食費等の物価高騰によって特に影響を受ける低所得の子育て世帯に対して、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、給付金を給付するものです。支給額は、児童 1 人当たり 5 万円です。ひとり親世帯分は、令和 5 年 3 月分の児童扶養手

当の支給対象人数及び昨年度の給付実績から 940 人と見込んでおります。ひとり親以外の子育て世帯分は、昨年度の給付実績から 500 人と見込んでおります。申請不要の積極支給の対象者に対しては、令和 5 年 5 月末までに支給することとされており、特に緊急を要したため、専決処分を行ったものです。主な質疑としまして、「直近で収入が減収した世帯等については、申請が必要で、可能な限り速やかに支給するということだが、具体的にはいつ頃に支給するのか」との質問に、「7 月 1 日から受付を開始する予定であり、審査後、順次支給する予定としている」との答弁がありました。「市の公式 LINE で事業を周知するということだが、本事業の情報を簡単に探してもらえるようにできるのか」との質問に、「収入が減少した世帯に対しての給付金があるということを、新着情報として発信したい」との答弁がありました。以上で、民生福祉分科会からの報告を終わります。よろしくお願いします。

(松尾数則分科会長降壇)

中村博行委員長 民生福祉分科会長の報告が終わりましたので、これより質疑を行います。質疑はありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）質疑なしと認めます。これより、承認第 1 号について討論を行います。討論はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）討論なしと認めます。それでは、承認第 1 号について、採決します。本件に賛成の委員の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

中村博行委員長 全員賛成により、本件は承認すべきものと決しました。以上で、一般会計予算決算常任委員会を散会します。お疲れ様でした。

午前 10 時 30 分 散会

令和 5 年（2023 年）5 月 24 日

一般会計予算決算常任委員長 中 村 博 行